

## 地域への波及効果(マスコミ)

No	年度	新聞社 (報道番組)名	報道年月日	内 容	備 考
1	H12	山形新聞夕刊	2000.01.13	光の「干渉」を利用 物体の構造画像化 山	
2	H12	山形新聞	2000.05.27	大大学院・丹野教授 山形牛やサクランボ新品種 産学官の研究進 む 山形で発表会	
3	H12	日刊工業新聞	2000.11.30	キーマンに聞く 山形 宇佐美健一氏	
4	H13	日本経済新聞	2001.08.09	食品開発 ネットで市場調査 モニター47	
5	H13	山形新聞	2001.08.14	消費者と一体ヒット商品開発 ネットを使い モニター募集	
6	H13	日経産業新聞	2001.08.16	商品開発ネットを活用 全国調査、低コスト	
7	H13	読売新聞	2001.08.20	山形の研究グループ 家畜の受精卵健康度を	
8	H13	日本農業新聞	2001.08.22	山形の研究所など 受胎率高い受精卵 呼吸 量から判定	
9	H13	河北新報	2001.08.23	家畜の受精卵の健康状態を判定 山形県企業 振興公社など成功	
10	H13	読売新聞	2001.08.29	家畜の子だくさんに一役	
11	H13	山形新聞	2001.09.24	光の特性で断層を画像化 丹野教授(山大大 学院)らに発明賞	
12	H13	山形新聞	2001.10.22	社説 県内の産学官研究 現実的な成果に期	
13	H13	読売新聞	2001.11.09	ワインのような日本酒出来ます 県工業技術	
14	H13	山形新聞	2001.11.23	県の地域結集型研究 7つの成果紹介	
15	H13	山形新聞	2002.02.21	山形の酒に新たな味覚 新酵母使い醸造 県内15社	
16	H14	山形新聞	2002.04.02	女性の感性で造りました 日本酒「未摘花」	
17	H14	日本経済新聞	2002.05.17	新素材の高付加価値食品 東北で相次ぎ商品	
18	H14	河北新報	2002.07.02	山形のメカと山形大教授 医療用検査装置な ど開発企業を共同設立	
19	H14	日刊工業新聞	2002.07.02	OCCT応用の検査・診断装置 事業化へVB	
20	H14	山形新聞	2002.07.02	山大教授と天童の会社 共同出資しベン	
21	H14	日経産業新聞	2002.07.03	エムテックスマツムラ 山形大教授とOCCT	
22	H14	日本経済新聞	2002.07.03	山形大・エムテックスマツムラ 装置開発V	
23	H14	読売新聞	2002.07.23	光技術ベンチャー設立 山大大学院教授も出 資、特許応用	
24	H14	日本農業新聞 (e農Net)	2002.08.21	血統で牛肉のうまみ成分に差ノ山形県農業研 究研修センター	
25	H14	山形新聞夕刊	2002.09.03	サクランボの葉から芽が出た 国際学会で発	
26	H14	山形新聞	2002.11.08	牛の元気な受精卵選別 呼吸測定器を販売へ	
27	H14	山形新聞	2002.11.22	地域結集型の研究成果紹介 県共同事業発表	
28	H14	産業情報やまがた 通巻394号	2002.12.01	全国に先駆け来年2件の製品販売を予定	
29	H14	日刊工業新聞	2002.12.19	山形県地域結集型共同研究事業 来年、2製 品市場投入	
30	H14	読売新聞	2003.01.19	新酵母開発 日本酒に苦みでコク 県工業技 術センター	

No	年度	新聞社 (報道番組)名	報道年月日	内 容	備 考
31	H14	日本経済新聞	2003.01.27	牛クローン胚 健康状態判定 山形県公社	
32	H14	読売新聞	2003.02.19	ひと交差点 日本酒の「苦み」酵母開発	
33	H14	山形新聞	2003.03.26	研究から実用へ 県地域結集型事業の成果	
34	H14	山形新聞	2003.03.27	研究から実用へ 県地域結集型事業の成果	
35	H14	山形新聞	2003.03.28	研究から実用へ 県地域結集型事業の成果	
36	H15	山形新聞	2003.04.01	社説 産学官連携の研究事業 詰めの支援が	
37	H15	山形新聞	2003.04.16	若手対象の県科学技術奨励賞 受賞者3人を	
38	H15	山形新聞	2003.04.30	“健康タラノメ” 消費者は好反応 独自の栽培法でポリフェノール増加	
39	H15	山形新聞	2003.07.18	「共同研究 今後も」 県地域結集型事業5年間の成果報告	
40	H15	日刊工業新聞	2003.08.01	山形県地域結集型共同研究事業,来月で幕 製品化など多彩な成果	
41	H15	産業情報やまがた 通巻400号	2003.06.01	山形県地域結集型共同研究事業の終了にあたり成果報告会を開始します。	
42	H15	産業情報やまがた 通巻403号	2003.09.01	「山形県地域結集型共同研究事業」9月終了にあたり5年間の共同研究と製品化の取組み	

## 地域への波及効果（団体訪問）

No	年 度	訪問時期	団 体 名	訪問者数	備 考
1	H10	H10.3.1	三重県	3名	
2	H11	H11.6.1	山形大学理学部・工学部	22名	
3	H11	H11.10.21	テクノポリス推進協議会（工業振興課）	10名	
4	H12	H12.10.31	山形南ロータリークラブ	45名	
5	H12	H12.11.6	香川県	3名	
6	H12	H12.11.7	フランス大使館農産食品バイオ担当官、フランス国際農業開発研究センター副センター長	5名	
7	H12	H12.6.9	日本学術振興会 産業計測第36委員会	10名	
8	H12	H12.5.25	（財）ソフトピアジャパン	1名	
9	H12	H12.5.25	（財）広島県産業技術振興機構	1名	
10	H12	H12.8.2	愛知県	3名	
11	H13	H13.7.31	山形東高等学校	27名	
12	H13	H13.6.29	山形大学工学部	20名	
13	H13	H13.1.29	和歌山県	2名	
14	H14	H14.6.14	東北農業試験研究推進会議	30名	
15	H14	H14.9.27	山形大学工学部	125名	
16	H14	H14.10.3	山形東高等学校	42名	
17	H14	H14.10.8	東北大学附置研究所	50名	
18	H14	H14.5.9	千葉県地域結集型事務局	3名	
19	H14	H14.5.30	山形大学工学部	20名	
20	H14	H14.11.22	石川県産業創出支援機構	1名	
21	H15	H15.6.24	山形大学工学部	20名	
22	H15	H15.7.18	山形東高等学校	40名	
23	H15	H15.8.7	神奈川県木原記念横浜生命科学振興財団	3名	

## 地域への波及効果（発表会）

No	年度	発表会名	開催時期	開催場所	参加人数	備考
1	H11	平成11年度山形県地域結集型共同研究事業研究成果発表会	平成11年10月29日	山形県高度技術研究開発センター	80名	
2	H12	平成12年度山形県地域結集型共同研究事業研究成果発表会	平成12年5月26日	ホテルメトロポリタン山形	150名	
3	H13	平成13年度山形県地域結集型共同研究事業第1回研究成果発表会	平成13年6月7日	山形県高度技術研究開発センター	77名	
4	H13	平成13年度山形県地域結集型共同研究事業第2回研究成果発表会	平成13年11月22日	ホテルメトロポリタン山形	120名	
5	H14	平成14年度山形県地域結集型共同研究事業第1回研究成果発表会	平成14年6月20日	山形県高度技術研究開発センター	58名	
6	H14	平成14年度山形県地域結集型共同研究事業第2回研究成果発表会	平成14年11月21日	ホテルメトロポリタン山形	180名	
7	H15	山形県地域結集型共同研究事業成果報告会成果報告の部	平成15年7月17日	ホテルメトロポリタン山形	220名	
8	H15	山形県地域結集型共同研究事業成果報告会研究報告の部	平成15年7月18日	山形県高度技術研究開発センター	120名	